

拄杖を手に上段する新命安本由道住職



晋山式 しんさんしき

門前で歴代二十七世として正式にお寺に入るにあたって覚悟のほどを述べ、本堂に進んで、御本尊様や歴代住職に心からの報恩感謝の意を捧げられました。



山門前で住職就任の覚悟を唱えます

晋山開堂 しんさんかいどう

お寺に入った住職は、多くの人びとを導く説法を行うための場所を開き、須弥壇^{しゅみだん}*上で国の平和、歴代住職への報恩感謝、檀信徒の皆様方のご先祖供養を願って法語を述べ焼香しました。



須弥壇上で法語を述べる住職

説法・問答 せつぽう・もんどう

その場に集まる僧侶が住職に説法をお願いし、問答が開始されました。問答は、禅の修行など多岐にわたります。答えを聞いた僧侶は「吉祥、吉祥、大吉祥」と唱え謝意を述べます。問答の後、住職は改めて禅の真実の教えを示し、自分の所感を述べました。



住職に説法をお願いし問答が開始します

祝辞 その後、両本山の御専使より祝辞の伝達がありました。



永平寺御専使、
来馬宗憲老師



總持寺御専使、
福田恵文老師



曹洞宗東京都宗務所
所長、久保達夫老師



檀信徒総代、
平林延勝氏



住職の説法が大和尚にふさわしいことを証明し問答終了の合図をする白槌師役の青龍寺住職・松崎昭元大老師

※須弥壇：御本尊を安置する壇